

十島村教育委員会だより 平成18年12月号

たわやがたカラ情報

発行元 十島村教育委員会
〒892-0822 鹿児島市泉町13番13号 ☎099-227-9771
E-mail toshima-ky@tokara.jp

心に残る先生～28～

教育長 齊脇 司

トイレ磨きと八ガキの先生

きりっと絞った雑巾で、磨きあげられたトイレの最後の一滴を拭き終わったときの爽快感は何事にも換えがたいものがあります。今でこそ県下各地の中学校におけるトイレ磨きは、普通のようになっていますが、今回は、最初にトイレ磨きの大切さを教えてくれた先生の話です。

I市で中学校長をしていた時のことです。学校創立50周年記念の事業推進委員会に、関西から多額の寄付をしてくださった卒業生がいました。あまりの寄付金の多さに、早速お礼の八ガキを出したら、郷里に帰省するので母校に寄らせて欲しい旨の返事でした。数日後、校長室に尋ねてこれ様々なお話を伺いました。健康食品の製造販売を国内のみならず、世界各国を股に掛けた事業を展開していること、年老いた両親への孝養のために今後はI市に拠点を移したいこと、そのため健康道場を設置するという事等々、実に楽しいお話でした。その中でも一番興味深く伺ったのは、晩年の森信三先生との出会いとご厚誼のことでした。教育に身をおく者として森信三先生の「不尽叢書」を知らない人はいないと考えますが（礼を正し、場を清め、時を守る、これ現実界における再建の三大原理にして、如何なる時・処にも当てはまるべし等の教えは有名）、これを機会に週一回、若い教師たちを集めて、この本の輪読会を実施させてもらったのも先生の健康道場でした。

企業経営の中にトイレ磨きを取り入れた（株）ローヤル社長鍵山秀三郎先生のお話を伺ったのも、この先生でした。荒れた中学校をトイレ磨きで立ち直らせた加西市の通称羅漢先生、藤本文敏先生も紹介してもらいました。母校に立ち寄るたびに「トイレを磨かせてください。」と、すぐに腕まくりをされています。早朝広い校門の周りの清掃をしていると「私にもさせてください。」と箒を手にしてやって参ります。現在I市では、この先生や市議会議員の方々を中心として、中学生を巻き込んだ市内の公園等のトイレ磨き運動が定着しているとのことでした。

教師として八ガキの活用は、森信三先生も説いています。その教えを守り、年間一万枚の八ガキを出しているこの先生は、トイレ磨きと八ガキは、人としての修養と言いながら、現在も牛若丸のように全国、世界を飛び回っています。

【二学期終業式無事終わる】

地域をあげて頑張った大運動会や文化祭など楽しかった二学期は、各学校大きな成果を挙げて無事終了したことを心から嬉しく思います。これも偏に学校・家庭・地域が一体となった連携の賜だと心からお礼を申し上げます。12月10日現在の児童生徒数は次のとおりです。

()内は山海留学生数

	口之島	中之島	平島	諏訪之瀬島	悪石島	小宝島	宝島	計(人)
小学校	5(0)	4(0)	6(1)	4(0)	5(0)	3(1)	9(2)	36(4)
中学校	3(0)	8(0)	4(3)	3(0)	4(0)	6(4)	8(4)	36(11)
計(人)	8(0)	12(0)	10(4)	7(0)	9(0)	9(5)	17(6)	72(15)

【十島ファミリー劇場盛り上がる】

小宝島での十島ファミリー劇場は、12月2日(土)に、福岡の劇団道化3人を迎えて、第1部で「なにができるかな<パフォーマンス>」、第2部では「しょうぼうじどうしゃ<人形劇>」を公演してもらいました。終始笑い顔や笑い声が会場に広がり、子供たちには勿論のこと大人にも好評でした。

中之島では、12月16日(土)に、東京の津軽三味線奏者1人と二胡奏者2人による素晴らしい共演を披露してもらいました。会場の皆さんは、奏でるハーモニーにすっかり魅了され、盛んに拍手を送るなど、地域の方々から高い評価を受けました。



(中之島でのファミリー劇場のひとこま)



(小宝島でのファミリー劇場のひとこま)

【山海留学生の里親希望を！】

十島村の児童生徒が年々減少しており、今後の学校存続が危惧されています。教委としてもその対策として山海留学生を増やすなどの努力をしているところです。お陰さまで、これまで地域の方々のご理解とご協力により、現在、3島に15人の山海留学生が在籍しております。

現在も県内外からの保留中の山海留学生希望者がいます。一人でも多く受け入れるため、関係者等にも相談しているところですが、随時里親を募集しますので、何卒よろしくお願ひします。

連絡先 ・島内各学校 校長(分校教頭)
・教育委員会(TEL099-227-9771 FAX099-227-9773)

【健康づくりの学校給食推進】

本年度も、学校給食週間中に「健康づくりを生かした学校給食 学校・家庭・地域との連携を深める運動」が展開されます。本村の全学校では、1月22日(月)～26日(金)の間に特別献立を計画しています。

この週間に鹿児島県産だけの食材を取り入れた「鹿児島をまるごと味わう日」を設定し、地産地消にも努めるようにしています。

【ノロウイルスによる食中毒に注意を！】

今年の冬は、全国的に「ノロウイルス」による感染性胃腸炎が大流行しています。冬の食中毒の多くは「ノロウイルス」が原因だといわれています。次のことを順守して感染予防に努めましょう。

- 十分な手洗い(20秒位)・うがいをしっかりする。
- “かき”などの二枚貝等はしっかり加熱する。(中まで火が通るように)
- 体調の悪い時に生物(ナマモノ)・生水(ナマミズ)を飲食しない。
- 十分な睡眠・休養をとる。